

ノーリツ、第7回カーボン・オフセット大賞「優秀賞」受賞 環境配慮型給湯器生産時のCO₂排出量をカーボン・オフセット 環境配慮型給湯器を通して、兵庫県の森林育成に貢献

～ 年間 485t のオフセットを実現 ～

湯まわり設備メーカーの㈱ノーリツ(本社:神戸市、代表取締役社長:國井総一郎、資本金:201億円、東証一部上場)は、カーボン・オフセット推進ネットワーク主催の「第7回カーボン・オフセット大賞」において、当社がCSR活動の一環として行っている、兵庫県の森林育成に貢献する地球の笑顔に向けたオフセットへの取り組みが評価され、「優秀賞」を受賞しました。表彰式は12月8日(金)東京ビッグサイト(東京都江東区)で行われます。

「カーボン・オフセット大賞」は、低炭素社会の実現に向けて、優れたカーボン・オフセットの取り組みを行う団体を表彰し、奨励するとともに、具体的な取り組み事例の紹介を通じて、カーボン・オフセットの意義と取り組みへの理解が社会全体に広く浸透することを目的として、カーボン・オフセット推進ネットワーク(「CO-Net」)の主催により、実施されています。

当社は2011年4月に兵庫県内の製造業として初めて「森林カーボン・オフセット」の仕組みを導入しました。当初はノーリツ加古川工場で排出されるCO₂のカーボン・オフセットを実施しておりました。今年度より、主力商品である給湯器の中でも特に環境に配慮した商品の生産時に排出されるCO₂のオフセットの実施も決定・推進しています。

具体的には、環境配慮型給湯器生産時のCO₂の排出を、森林カーボン・オフセットサービスを利用し、本社所在地である兵庫県の森林育成に貢献することでオフセットするもので、オフセットには対象商品の売上高の一部を使用しています。

対象とする商品は、「家庭用ハイブリッド給湯・暖房システム」と「高効率ガスふろ給湯器GT-C62シリーズ」で、オフセット量は485t/年間になります。オフセット先は兵庫県朝来市、宍粟市、養父市、神戸市の森林です。オフセットは、株式会社日本オフセットデザイン創研を通じ、兵庫県森林組合連合会が提供しているクレジットを購入する「森林カーボン・オフセットサービス」を利用し、朝来市、宍粟市、養父市、神戸市の間伐^{*1}などの森林整備を支援する「間伐促進型プロジェクト」として推進しています。

こうした、環境配慮型商品の販売促進活動による森林カーボン・オフセットサービスの利用で、地元の森林育成に貢献し、低炭素社会の実現に積極的に取り組んでいることが、今回の受賞につながりました。

今後も、ノーリツでは、給湯器というインフラを担う企業として、またエコ・ファースト企業として、社会的使命を踏まえ、低炭素社会をはじめとした持続性のある未来に向けて責任を果たしていきます。

【ご参考】

◆カーボン・オフセット対象商品



- 商品名：家庭用ハイブリット給湯・暖房システム
- 特長：空気熱とガスエネルギーを利用して効率よくお湯をつくり、省エネ・環境性、快適性を両立する商品。給湯一次エネルギー効率は業界最高レベルの 145% を達成。さらに地球温暖化への影響が極めて少ないノンフロン冷媒「R290」を採用。従来型ガスふろ給湯器に比べて CO₂ を約 49% 削減します。



- 商品名：高効率ガスふろ給湯器 GT-C62 シリーズ
(エコジョーズ)※一部商品を除く
- 特長：業界初となる“見まもり”と“キレイ”で入浴時の安心をサポートする機能を搭載した高効率ガスふろ給湯器。エコジョーズは毎日使うだけで、従来型ガスふろ給湯器に比べて CO₂ を約 16% 削減します。

◆「森林カーボン・オフセットサービス」とは

森林には CO₂(二酸化炭素)の吸収・様々な生物への生育環境の提供・川に流れ込む水の量の安定化・水の浄化など、さまざまな環境保全に有効な機能があります。しかし現在、日本の林業は木材価格の低下などによる木材の自給率の低下、山村の過疎化による林業従事者の高齢化などにより、森林組合も含めて、きわめて厳しい経営環境におかれています。

「森林カーボン・オフセットサービス」は、国が認証する J-クレジット制度^{※2} の枠組みで森林が吸収する CO₂ 排出枠を、企業がカーボン・オフセットのために拠出した資金で該当地域の森林整備に活用する仕組みです。



◆「森林カーボン・オフセットサービス」のながれ

- 1.国が認証する J-クレジット制度を活用し、CO₂ 吸収量を森林組合連合会および森林組合が調査、クレジット化したものを、株式会社日本オフセットデザイン創研が委託を受けてサービス提供します。
- 2.森林カーボン・オフセット利用サービスの期間は限定されており、転売できません。
- 3.COP21 パリ協定採択に伴う CO₂ 削減目標の約束草案の内、森林吸収源 2.0%を見込んでおり、これを支援する位置づけとなります。

◆カーボン・オフセットの普及に向けてー

工場見学者に対象林地域の間伐材ノベルティをお渡し

森林環境保全を担う地元林業を応援し、本活動に親しんでいただくため、活動の対象となる林のある地域の間伐材を利用したノベルティを作成し、オフセット対象の製品である GT-C62 シリーズの生産ラインのある工場見学に来た方へお渡ししています。



これまでのノベルティ例：

上段：左から、ひのきのコースター、ひのきの缶詰、
ひのきのマグネット

下段：ひのきのマグネット

◆カーボン・オフセットの普及に向けてー新入社員への環境教育

当社では、社員一人ひとりが環境への意識を高め、企業活動が環境にどのような影響を与えているのかを理解したうえで、公私ともに環境保全活動に積極的に取り組むことを目的に ISO14001 に基づく環境教育を行っています。なお、新入社員には一般教育のほかに、オフセットで森林育成を支援している宍粟市へ訪問し、間伐作業の見学を実施しています。カーボン・オフセットのクレジット購入費用の森林整備への使われ方や、環境保全への取り組みを肌で感じることで、今後、企業活動に従事するうえで環境に配慮することの大切さを学びます。



間伐作業を見学する新入社員



新入社員への環境教育の様子

- ※ 1：間伐とは混みすぎた森林の木の間に引き作業を行ない、森林環境を良くして、樹木が健康に育つようにすることです。植えた木の本数を減らす代わりに、残された木が健全に育つように手を入れます。間伐をすることにより、地面に日光が差し込み、さまざまな草や木が新たに生え、それを食料とする昆虫や鳥が生息するようになるなど、生物の多様性が向上します。また、地中の根もしっかりと張り巡らされ、台風や大雪、土砂災害などに強い森林となります。
- ※ 2：国が認証する J-クレジット制度とは、省エネルギー機器の導入や森林経営などの取り組みによる、CO₂ などの温室効果ガスの排出削減量や吸収量を「クレジット」として国が認証する制度です。本制度は、国内クレジット制度とオフセット・クレジット（J-VET）制度が発展的に統合した制度で、国により運営されています。本制度により創出されたクレジットは、低炭素社会実行計画の目標達成やカーボン・オフセットなど様々な用途に活用できます。